

令和3年度 第2回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 会 議 議 事 録

日時：令和3年12月22日（水）

午後1時30分から3時00分まで

場所：飛島村役場 2階第3会議室

○司会：早川課長

定刻になりましたので、ただいまから令和3年度 第2回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。わたくしは、事務局を務めさせていただきます、企画課長の早川と申します。よろしくお願いいたします。

資料の確認をさせていただきます。

本日の出席者数について委員22名の内18名の出席をしていただいております、定数の過半数を超える委員のご出席をいただいておりますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしています。当協議会は「協議会 会議運営規程」に基づき、会議録を開示させていただきます。

はじめに、当 法定協議会 会長であります 飛島村長から、あいさつを申し上げます。

1. あいさつ

○加藤村長挨拶

本日は、ご多用のところ、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席賜り厚く御礼申し上げます。日頃から地域の公共交通事業の推進につきまして、格別のご指導とご鞭撻を賜っております。委員の皆様には、重ねて感謝申し上げます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症は地域公共交通にも大きく影響をもたらしており、未曾有の危機的状況が続いております。

この飛島公共交通バスも例外ではなく、乗客者数、運賃収入も約2割減の状況でしたが、減便するのではなく、令和2年10月から増便を行い、感染症対策を万全にしつつ、皆さんの協力のもと運行を継続してきました。

昨今では、また新型のオミクロン株が広がりつつあります。ウィズコロナ、アフターコロナを念頭に、よりよい地域公共交通の在り方について、皆さま方の専門性のご経験をもとに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

○司会：早川課長

ありがとうございました。

それでは、会議の進行は要綱の規定に基づき、座長の伊豆原様にお願いします。

○伊豆原座長

伊豆原と申します。よろしくお願いいたします

コロナの状況が少し落ち着いて、対面での協議ができるようになりました。リモートは少しよそよそしい感じがして落ち着かない。対面でできることが嬉しく思う。

本日の協議事項として自己評価について検討します。何ができたか、次は何ができるか、評

価値することは本当に大切です。忌憚のない意見を頂戴して、次のステップに進められればと思います。

議事に入る前に、はじめに議事録署名人を選任させていただきます。議事録署名人として、名古屋近鉄タクシー株式会社の中村様と愛知県交通運輸産業労働組合の楠様をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について

○伊豆原座長

それでは報告事項に入ります。報告事項1について、報告をお願いします。

○事務局

資料説明

○伊豆原座長

利用実績についてご説明がありました。ご質問ご意見ありますでしょうか。

よろしいですか。年に1回くらいは、停留所別の動向も確認いただけると助かります。蟹江町と弥富市に跨いで運行しており、どれぐらいの利用があるのか。また、以前は駐輪場の確保の検討もした。そうした利用がどのようになっているのかも気になります。年に1度程度は確認いただけると助かります。

○事務局

三重交通と相談し確認していきたい。

○伊豆原座長

お願いばかりですいません。先ほども利用してきました。昼間の時間帯で15人の利用。我々を除けば10人程度で、よく利用されていると思う。

○村上委員（区長会長）

蟹江線で9便増便された。時間帯の変化は。

○事務局

令和2年10月から9便増便。朝の蟹江方面3便、反対1便、夕方に蟹江から3便、飛島から2便増便した。利用を促す。

○村上委員（区長会長）

増便の効果としてコロナの影響もあるが利用は変動しなかった。ダイヤの変更は想定しないか。

○事務局

お声を聞いてダイヤを設定した。今のところ声は聴いていない。利用の変動は大きくないが、

要望があったら教えてほしい。今のところ変更の予定はない。

○伊豆原座長

高校生の朝の部活に間に合うように声を聞いてダイヤ設定した。使いやすいものになってきたと思う。引き続きチェックし続けたいと思う。名港線は従業員向け、蟹江線は地域の方の利用です。コロナの影響が少しずつ落ち着いてきたと思う。

これについて確認させていただいたとして次に進めてよろしいか。

特にご意見ありませんので確認いただいたとして次の議事に移ります。

3. 議事

●議案第1号 令和3年度 自己評価について

○伊豆原座長

次に議事に入ります。議案第1号『令和3年度 自己評価について』事務局からの説明をお願いします。

○事務局

資料説明

○伊豆原座長

ありがとうございました。令和3年度の自己評価の報告がありました。

中部様式は国に提出せず、自主的に様式を利用して評価しているもの。県の幹線系統の評価様式で県に提出するもの。

来年の2月中旬に運輸局にて第三者評価会議にて、幹線系統とフィーダー系統について評価をする。その評価資料。愛知県からまとめて提出される。

○山内委員（愛知運輸支局）

名港線について②の輸送量実績。15人を下回ると補助対象とならなくなる。コロナの影響があり今年は理解するが、コロナだけの問題として捉えてしまうべきでない。次年度の評価への影響や次年度の取組について確認することが重要。

通勤という点では、通勤利用が実際に戻るのか。新しい需要の掘り起こしをしていく取り組みが重要。中部様式のD0について、取組部分を確認してほしい。この会議で議論し共有いただきたい。

交通計画の策定をされているが、中部様式でその内容も確認いただきたい。毎年協議していくべきものなので、発言させていただいた。

○事務局

ありがとうございます。中部様式を用いて整理しているが、本日は愛知県様式を説明した。中部様式では、課題認識も確認し取組を整理している。今後は中部様式でも確認していきたい。

○伊豆原座長

コロナの影響があった。輸送量実績の14.8が15人を下回っており、2年連続下回ると補助

金がもらえなくなる。

幹線系統の補助対象から外れると、これに接続するフィーダーも補助対象から外れることになる。

西部臨海企業連絡協議会と情報交換して、従業員の通勤事情がもどってくるのか確認していただきたい。

国の評価結果は、愛知県に報告がある。県から飛島村に連絡をお願いし、その結果はこの会議で共有をお願いしたい。

評価については、名古屋市、弥富市、蟹江町のコメントも入っており、県に報告することになる。皆さんに確認いただいた。

○山内委員（愛知運輸支局）

蟹江線の評価部分について学校の再開についてのコメントがある。内容について共有しておきたい。

○伊豆原座長

通勤通学の利用が多いので、回復しているのか。

○事務局

通学、通勤ともにだいぶ回復していると認識している。

○伊豆原座長

ほぼ回復状況にある、回復しつつあるという表現でしょうか。

○阿部委員代理（蟹江町）

蟹江線は蟹江町の南部、舟入地区を通過する。

通勤通学の利用がありつつ、高齢者の方もあり、コロナ禍で利用を控えているという理解する。

○山内委員（愛知運輸支局）

コロナについて回復するとのんびり構えるのではなく、利用が戻らない層もある。そうした認識で新しい利用者の獲得も検討するなどの確認が重要だと思う。

○伊豆原座長

表現について、少し蟹江町と事務局にて調整ください。

○事務局

事務局にて蟹江町を協議し、座長伊豆原先生に確認いただき、県に提出させていただきたい。

○伊豆原座長

会議は何度も開催できないので、事務局・座長・会長での確認に一任いただくという前提で承認をいただきたいがよろしいか。

ありがとうございます。ご異議無いようなので、承認いただいたとします。

●議案第2号 飛島公共交通バス（蟹江線）の1日無料運行について

○伊豆原座長

次に議事に入ります。議案第2号『飛島公共交通バス（蟹江線）の1日無料運行について』事務局からの説明をお願いします。

○事務局

資料説明

○伊豆原座長

ありがとうございました。飛島公共交通バス（蟹江線）の1日無料運行についての報告がありました。ご質問等ありますか。

昨年は中止。1 昨年の利用はどうだったか。

○事務局

マルシェは1,400人ぐらいの来場で、バス利用については正確な数字はわかりません。

○伊豆原座長

こうしたイベントがあると住民の交流が進む。バス利用をお願いしたい。

開催できる際には、アンケート調査をするなどして、住民の意見を確認いただく取組をしていただきたい。無料運行による運賃負担を村が対応する。運賃制度は変更しないという内容ですが、承認いただいてよろしいでしょうか。

特に異議がないようなので、全員の承認を頂いたものとします。

4. その他

○伊豆原座長

以上で、予定されていた議事は終了しましたが、最後に『4. その他』として、三重交通自主運行路線「名古屋飛島高速線」についての説明をお願いします。

○事務局

今年度第1回会議で検討状況について報告しました。臨海地区でのアンケート調査を実施し、結果を共有し、三重交通にて協議いただいた。結果、名古屋飛島高速線の開設はしないという結論をいただいた。将来的にはコロナの影響の様子をみていくと聞いている。

○小黒委員（三重交通㈱）

自主運行路線の結論は同じ。補足すると、当社の自主路線としては厳しい。補助金などの支援がいただけるなら、運行の検討はできる。当社単独では、今は条件がクリアしない。

コロナの影響による旅客の減少について、しばらくは様子を見て、回復するかを確認する。

社内では路線統合、見直しなどを行っているところで、アンケート結果からチャレンジする環境にはないと判断した。事業状況が改善し、採算ラインをクリアできるような状況になれば

と思う。名港線の利用が回復したあと、当該路線がその受け皿になればと思う。

○柿内委員代理（名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会）

期待していた。アンケート結果がどのように厳しかったのか。

このバスがない中での調査。飛島村の援助をいただいて、利用がされるのかを検討をお願いできればと思う。また、弥富市の協力もいただきながら、木場と弥富をつなぐ路線も期待したい。

○伊豆原座長

ご要望としてお聞きした。

期待される声もある。三重交通、事務局、弥富市には、お互い情報交換していただき、そこからスタートして、進めていただきたいと思う。

○事務局

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会の声を引き続き聞いていく。数値については、採算ラインは 130 人以上の利用。アンケート結果では往復利用が 50 人との回答で厳しいとお答えした。

○伊豆原座長

ニーズとして 50 人はある。いろんな判断があるので、事務局にて情報交換を引き続き進めてほしい。

来年度 4 月からの運行は厳しい。今のニーズからどれだけ増やしていけるか、西部臨海地帯企業連絡協議会と情報交換し、進めていただきたいと思う。

○加藤会長（村長）

直行便は魅力的。名二環の通行開始から、そちらのルートを期待していた。

○小黒委員（三重交通㈱）

検討の余地がある。

○加藤会長（村長）

臨海部の企業団地までの直行便と、港内の循環の 2 種類がないと利用されない。その点が課題だと思う。引き続き情報交換していきたい。

○伊豆原座長

会長からも心強い発言を頂戴した。

他にご意見ありますか。ないようです。引き続き情報交換を進めていただくこととしたい。

2 点の資料配布がありました。

○山内委員（愛知運輸支局）

感染症対策の資料、コロナウイルス対策。バス停対策。死角での事故防止。

○平野委員代理（愛知県都市・交通局 交通対策課）

マイルートのアプリの紹介。

○伊豆原座長

MaaSに関わる社会実験です。是非取り組んで欲しい。周りの方と報告事項について話題にしていただけると助かります。

本日は円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

○早川課長：司会

伊豆原先生、ありがとうございました。

次回は令和4年3月末を予定しています。年末の忙しい中出席いただきありがとうございました。

以上で令和3年度 第2回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。お帰り際には、くれぐれも交通事故等に気をつけてお帰りくださるようお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

以上